

ごあいさつ

秩父の養豚場で生まれた「豚次」が各地を放浪する中で、さまざまな動物たちと出会い、任侠の道に生きる「流れの豚次」として成長する姿を描く全10

話の物語。落語界の鬼才、三遊亭白鳥師匠の原作を太福さんが浪曲化したものを各回2話ずつ、5ヶ月連続でお届けいたします。

通じで聴いていただると、その壮大な物語世界をご堪能いただけますが、もちろん、1話完結型ですので、単発で聴いても十分に楽しんでいただけます！白鳥師匠の奇想天外な世界が、浪曲になると一体どうなるのか？！ぜひ、会場で目撃ください。

—— 広島で生の落語を聴く会



©御堂義乘

浪曲版 玉川太福 任侠 流れの豚次伝

全10話 | 原作・三遊亭白鳥
浪曲化・玉川太福



- 第1回(4月)……第1話「豚次誕生秩父でブー！」、第2話「上野掛け取り動物園」、他1席
- 第2回(5月)……第3話「流山の決闘」、第4話「雨のベルサイユ」、他1席
- 第3回(6月)……第5話「天王山代官切り」、第6話「男旅牛太郎」、他1席
- 第4回(7月)……第7話「悲恋かみなり山」、第8話「チャボ子絶唱」、他1席
- 第5回(8月)……第9話「人生鳴門劇場」、第10話「金毘羅ワンニャン獣の花道」

+白鳥師匠が1席

13時半開場、14時開演です。正午より会場受付にて入場整理券を配布します。

ご予約方法

当会は予約取り置き制です。ご予約の上、当日会場にて、現金でご精算ください。
キャンセルされる場合は必ず事前にご連絡ください。

ご予約希望のお客様は下記の方法のいずれかよりお申し込みください。

予約フォーム

QRコードでアクセスしてお申し込みください。

または、下記のアドレスを手入力でアクセスしてください。

<https://forms.gle/LTqxchCQDELvfjT27>



その他の方法

メール(namarakugo@gmail.com)またはお電話(090-9570-4579)に、玉川太福「豚次伝」チケット希望と明記の上、①チケットの種類(通し券、もしくは単発か)②単発のお客様はご希望の回(例:第1回と第3回)③お名前(ふりがなも)④人数⑤お電話番号を書いてお申し込みください。

会場案内



広島駅より市内電車(1号線)紙屋町経由広島港(宇品)行で、袋町または中電前下車、その後、徒歩で平和大橋を渡り、100m道路平和大橋西詰を左折

プロフィール



玉川太福 (たまがわ・たいふく)

1979年、新潟市出身。2007年、二代目玉川福太郎に入門、2013年11月名披露目。当会には2度目の出演。古典と新作の二刀流。日本浪曲協会のほか落語芸術協会にも所属し、浪曲定期馬亭以外に落語の定席にも出演中。「天保水滸伝」や「清水地べたの二人」シリーズを継承する一方、新作では代名詞ともいえる「地べたの二人」シリーズをはじめ、時事ネタや身辺雑記など幅広くなる。瀧川鯉八・春風亭昇々・立川吉笑との創作話芸ユニット「ソーゾーシー」でも活動中。2017年からは山田洋次監督、松竹株式会社の許諾を得て「男はつらいよ」シリーズの全作浪曲化にも挑戦している。テレ朝動画「WAGE!」レギュラーMC。

(受賞歴) 第1回渋谷らくご創作大賞(2015年)、文化庁芸術祭大衆芸能部門新人賞(2017年)、浅草芸能大賞新人賞(2020年)、花形演芸大賞銀賞(2022年)



玉川みね子 (たまがわ・みねこ)

山形県出身。二代目玉川福太郎と結婚したことを機に、三味線教室へ。1976年に入門。1978年に浅草木馬亭で初舞台。現在は、玉川太福らの相三味線を務める。



三遊亭白鳥 (さんゆうてい・はくちょう)

最終回のスペシャルゲスト。「任侠流れの豚次伝」原作者。1963年、新潟県出身。日大芸術学部卒。大学時代は空手部と童話絵本研究会に所属。1987年、三遊亭圓丈に入門し、「にいがた」。1990年、二ツ目昇進し、「新潟」に。2001年に真打昇進し、「白鳥」。自作の新作得意とし、「任侠流れの豚次伝」以外にも「落語の仮面」(全10話)など創作落語多数。春風亭昇々太、柳家喬太郎、林家彦いちらとのユニット「SWA(創作話芸ソーシエーション)」でも活動中。